

MATSUDO CITY MONTHLY NEWS 松戸市感染症情報



発行日：2025年11月12日
発行：健康医療政策課
今回は12月10日 発行予定

表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関 あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				インフルエンザ			
	10/6~ 10/12	~10/19	~10/26	~11/2	10/6~ 10/12	~10/19	~10/26	~11/2	10/6~ 10/12	~10/19	~10/26	~11/2	10/6~ 10/12	~10/19	~10/26	~11/2
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	5.05	4.24	3.81	2.81	116.05	112.67	131.00	156.14	7.75	5.50	6.33	6.75	6.67	10.48	12.38	32.52
定点医療機関数	21				21				12				21			
前週比	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑
コメント	松戸保健所管内の年代別割合は29歳以下が約半数です。0歳から29歳…49.2% 30歳から59歳…25.4% 60歳以上…25.4%				急性の上気道炎・下気道炎を起こす病原体の総称です。0歳から29歳が全体の8割以上を占めています。				松戸保健所管内の定点医療機関あたりの報告数は、県内で最も高いです。食事の前やトイレの後は流水と石けんで30秒以上手を洗いましょう。				東京都、千葉県、松戸保健所管内で増加が続いています。「正しい手洗い」「咳エチケット」がポイントです。			
千葉県	4.04	2.55	2.23	2.07	68.09	61.28	77.50	100.49	3.57	2.92	3.07	3.35	4.15	6.99	11.77	25.04
前週比	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑
東京都	2.37	1.47	1.37	1.33	59.61	52.31	66.40	85.93	4.39	3.95	4.36	4.83	4.77	5.59	10.37	23.69
前週比	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑

インフルエンザ注意報発令中！

千葉県は2025年第43週（10/20～10/26）におけるインフルエンザ定点当たり患者報告数が11.82人となり、国が定める注意報基準値（10）を超えたため、インフルエンザの予防対策を更に徹底いただくことを目的に注意報を発令しました。

インフルエンザ予防接種について

予防接種を受けてからワクチンの効果が持続する期間は接種後約2週間から約5か月間とされています。接種を検討されている方は早めに受けましょう。



高齢者の定期予防接種

【対象者】松戸市に住民登録があり、

1. 接種当日に**65歳以上の方**（昭和35年12月31までに生まれた方）
2. 接種当日60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓又は呼吸器の機能の障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害があり、この4つのいずれかで身体障害者手帳1級相当の方



市ホームページ

【接種期間】10月1日から令和8年1月31日までに実施分
【費用】1,000円
【回数】1回限り

◎乳幼児の任意予防接種の費用助成について
【助成対象者】

令和7年度**住民税非課税世帯（世帯全員）**で、松戸市に住民登録があり、生後6か月から小学校就学前年度の乳幼児
※詳細はホームページをご覧ください。



市ホームページ

感染性胃腸炎も増加傾向

寒さや空気の乾燥などによってウイルスが生存しやすくなる秋から初春の時期は、ノロウイルスやロタウイルスなどが主原因となり流行します。吐き気やおう吐、下痢などの症状が起きた時にはウイルスを周囲に広げないように処理をしましょう。

感染を広げないように処理をしましょう

- ノロウイルスに感染した人の便やおう吐物を処理する時は、**マスク、手袋**、使い捨ての**ガウン**（ビニール袋等で代用可）を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように処理をして、ビニール袋に入れ、密閉して捨てましょう。
- 拭き取る際は、塩素系漂白剤を薄めて使用します。（濃度5%の家庭用漂白剤を、500mlのペットボトルにキャップ2杯入れる）
- 処理後は、**流水と石けんで30秒以上の手洗い**をしましょう。



治った後も注意が必要

ノロウイルスは、症状が治まってからもしばらくの間、便からウイルスが排出されるので、引き続き感染を広げないように、手洗いを徹底し、二次感染を防ぎましょう。

百日咳（ひやくにちげき）患者過去最多を更新

千葉県内で**百日咳が増加**しています。百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作（痙攣発作）を特徴とする急性の気道感染症です。7日～10日程度の潜伏期間の後、かぜ症状で始まり咳の回数が増えて激しくなります。約2～3か月で回復します。夜間の発作が多く、年齢が小さいほど症状は多様で、乳幼児早期では特徴的な咳がないので、注意が必要です。**有効な予防方法は予防接種です。**定期接種の5種混合ワクチンの定期接種対象期間に早めに受けましょう。